

地域振興論第2回

地域経済の評価

1. 地域とは

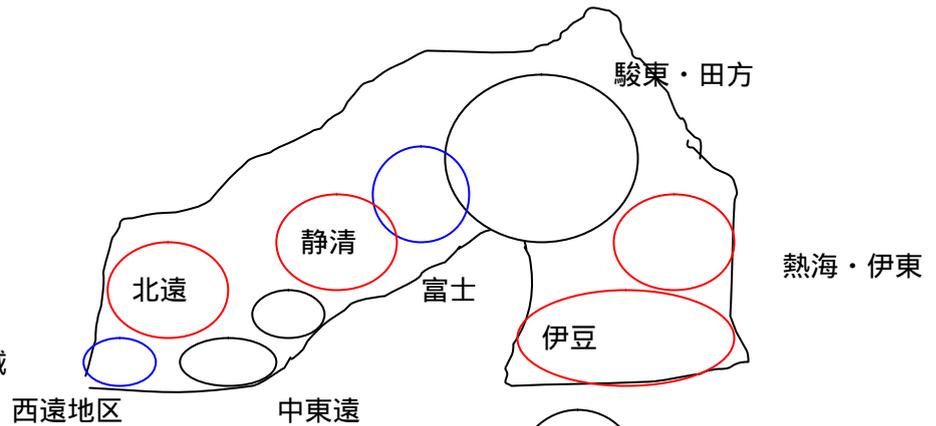
行政区

広域行政圏

静岡県で延びている地域

普通地域

停滞している地域

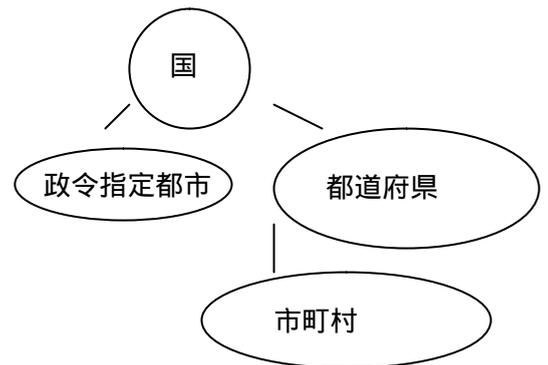


中核的都市 (浜松、富士、下田、磐田・・・)

衛星都市

関わりの深い都市ごとでまとめている

(細江から浜松に勤めている人が多い、など)



経済圏

東京圏 (埼玉・千葉・神奈川・東京)

2. 評価方法

物的評価

質的評価

傾向評価

東京都の経済は中国の経済に相当
 次は大阪 3 位：人口なら神奈川 GDP なら愛知
 以後・・・埼玉・北海道・千葉・兵庫・福岡
 静岡・茨城・広島 or 京都・・・鳥根・鳥取

静岡県とは

3%経済県(人口が全国の3%労働者数、店舗数・学校数など多くのものが3%になる)

第10位経済県(所得 GDP 税金の大きさ)

日本経済の縮図県(各種産業がまんべんなくある 日本経済の縮図 3/100 1/33)

産業のデパート県 (逆にないもの：石油化学コンビナート、軍需産業)

(全国で1番2番と言われる製品がたくさん バイク・ピアノ・製紙・刃物・・・)

テストマーケティング県(テスト販売に向いている 他のテスト県：広島2.5%が並ぶ)

工業特化県 (愛知・大阪・神奈川・東京・静岡、5番目、5%)

生産県 (技術者・研究者の割合は3%を大きく割り込む)

(研究県 物を作るのは向いている、新しいものをつくるのには向かない)

観光県 (観光地が多い 神奈川・北海道・静岡県 1億人以上が静岡県に来る)

知的サービス産業劣位県(デザイン産業・エンジニアリング産業・弁護士事務所弱い)

大型店不足県（店舗面積 500 m²以上の店のこと）

高労働県（15歳以上の労働力人口の割合が高い）

高物価県（東京・神奈川・静岡 3位 収入は全国10番 一番安いのは宮崎）

長時間労働県

低成長県（成長率鈍化県）

地域振興 現状を知る・目標を決める 現状と目標の間のギャップを見つける

誰がそれを埋めるかを考える

~~2極集中（東京・大阪）~~ 1極集中（東京）